

ご注意ください！

水稻減収被害にあわないために！！
～「トビロウンカ」など海外飛来性害虫の多発生に注意を～

令和2年7月30日付で広島県より病害虫発生予察注意報が発表されました。7月下旬の巡回調査において、トビロウンカの飛来世代成虫が確認されています（発生程度は過去10年で最多）。

過去、大きな被害があった年では（平成21年・25年・令和元年）7月下旬～8月上旬の巡回調査で発生が確認され、その後増殖し坪枯れによる減収が発生しました。今後の気象条件によっては、急激な増殖による多発生も懸念されます。良質米生産に向け、水稻栽培暦に掲載している出穂前後防除（基幹防除）を徹底してください。

【技術情報概要（トビロウンカ）】

1. 作物：水稻
2. **病害虫名：トビロウンカ**
3. 地域：県南部中心
4. **飛来量：多**



坪枯れ被害（右）
トビロウンカ短翅雌成虫（左）



予察灯では7月以降断続的な飛来が確認されています。（近年まれにみる大飛来）。
表. 7月第6半旬までの予察灯累計誘殺数

| | 本年 | 平年 | 前年 | 平成10年※警報発表年 (7月第5半旬) |
|-------|----|-----|----|-------------------------|
| 累積誘殺数 | 58 | 0.4 | 0 | 42 |

5. **防除時期：1回目：8月上旬**
2回目：8月中旬～9月上旬頃
穂ばらみ期（出穂前）、穂ぞろい期（出穂後）

【防除対策】

- 現在の発生状況から、防除適期は8月上旬～9月上旬（天候により前後）と予想されます。
- 特に中生品種は被害を受けやすいため、**穂ばらみ期、穂ぞろい期防除（出穂前後の防除）を徹底してください。**（早生品種であっても出穂期防除後も発生が多い場合は追加防除が必要です。）
- トビロウンカは株元付近に生育しているため、粉剤や液剤による防除は株元までしっかり行ってください。